

## 茶臼岳山行報告



【山行日】2019年 9月 29(日) 曇り時々小雨

【集 合】栃木市運動公園P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 2,300円

【メンバー】CL: 鈴木ユ、 SL大西、安西、嶋田、  
島田、鈴木ヒ、関、津佐、福島、福田タ、藤原

【コースタイム】栃木市運動公園 P6:00＝峠の茶屋

P7:20/7:40～峰の茶屋 8:30/8:40～茶臼岳

9:20/9:30～峰の茶屋 10:10/10:20～峠の茶屋

P10:40/11:50＝栃木市運動公園 P13:50

茶臼岳に登りたいとリクエストがあり、どのよう

なコースを取るか悩んだが、ロープウェイで登り茶臼岳から朝日岳まで登る計画にした。

ロープウェイの混雑を考慮し、1時間並ぶつもりで6時出発とした。ところがロープウェイ駐車場に着くと、ロープが張られ駐車場に入ることが出来ない。仕方なく上の峠の茶屋駐車場に車を止め、ロープウェイに乗らず峠の茶屋から登ることに計画を変更し峠の茶屋駐車場へ向かう。

峠の茶屋駐車場は混雑していたが、係員に誘導され奥の駐車スペースに止められた。

準備を整えたらトイレ前に移動し、トイレを済ませてストレッチを行い出発する。天気予報は朝のうちには小雨がパラつくが、9時過ぎから曇りの予報を信じて歩き始める。那須岳登山指導所で登山届を出し、すぐ先の鳥居から本格的な登山道を登るようになる。灌木帯の登山道を登ると視界が急に開け、道幅が広くなり右手には朝日岳の荒々しい岩峰が聳えている。茶臼岳の北面をトラバースするように緩やかに登り、右に回り込むように進むと避難小屋が立つ峰ノ茶屋に着く。



小休止しリンゴや菓子をいただき、水分も補給する。霧雨が降っているが視界は良く、流石山や朝日岳がはっきり見えている。

峰の茶屋から左に進み、直ぐ先で牛ヶ首への道を右に分け、左に茶臼岳に向かって登って行く。途中で小雨が強くなり、レインウエアの上衣を着てザックカバーを付ける。ゴツゴツした溶岩が重なり合った道を登ると火口分岐に出て、右に火口跡を反時計回りに進む。

火口跡を進むと三本槍岳から流石山方面の展望が開け、皆さんから「ウワ～綺麗」と歓声上がる。小雨が降っている中眺望が得られ、登ってよかったです。火口を回り込むと山頂に着き、山頂の標柱と那須岳神社の祠が立っている。



山頂の南側も視界が開け、那須高原から関東平野の展望が得られる。小雨が止んだかと思うとまた



降って来て、長居は無用と記念写真を撮ったら下山する。火口跡を1周できるが、展望が良いので来た道に戻ることにする。こんな天気でも登って来る人は多く、すれ違いで待たされる。峰の茶屋に着くと空が明るくなり雨が止み、これなら朝日岳まで足を延ばせるかなと思っていると、休憩している間にまた降り始めた。朝日岳に雨の中登るのは危険と判断し、ここから下山することにする。お手洗いにいきたいという人は先行して下り、残りの人はゆっくり下山する。先発隊が峠の茶屋まで下山し、トイ

シを済ませると後発隊が到着し、峠の茶屋の東屋でランチタイムとする。

東屋に移動し、ちたけうどんを作り、おにぎりと一緒にいただく。皆さんが苗場山や磐梯山で採ったちたけは美味しく、体と心まで温めてくれる。出汁巻き卵やピーミソ、果物や菓子などすべてが出され超豪華なランチとなった。

ランチが済んで東屋を出ると、なんと青空で晴天になっていた。朝日岳がクッキリと見え、「もう一度登りたい」という気持ちを抑え帰路につく。時間が早いので、道の駅「那須高原友愛の森」で野菜を買い、柏屋でお土産を買って無料のコーヒーやお茶をいただいた。



天気には振り回された茶臼岳山行だったが、事故も無く無事栃木市運動公園に帰着した。